

◆ 西日本豪雨に伴う久留米市災害ボランティア活動（第30回災害ボランティア活動）を平成30年7月28日（土）久留米市津福本町にて実施しました。

筑後信用金庫は、今月6日に発生した「西日本豪雨」の災害による床上・床下浸水で被災した家屋に対して、久留米市社会福祉協議会ボランティアセンターを通じた第30回災害ボランティア活動を実施しました。

今月9日に開設されました久留米市災害ボランティアセンターは、ボランティアニーズが一定収束したことから今月22日（日）17時に閉所となりました。閉所後の被災者からの災害ボランティア依頼に対しては、久留米市社会福祉協議会ボランティアセンターに引継ぎ、4名以上のボランティア団体のみでの取扱いとなっており、現在も引き続き依頼が続いています。

今回は、台風12号が接近していることもあり活動日が急ぎょ決定し、活動までの日数が短かったこと及び当金庫内の研修と重なったことから、十分な募集活動ができず、最低条件の4名で参加しました。参加者は、当金庫職員のほか朝倉市役所職員など15名と高校生4名合計23名で活動しました。

活動内容は、経験豊富な指導者の指示のもとで、被災家屋の家具の一部や床下の断熱材の運び出し、床下の水抜き及びサーキュレーターでの乾燥を行いました。

当日の気候は、久留米市の最高気温35.1度となり、約10日間では低かったものの、20日連続猛暑日となり、厳しいなかでの活動となりました。

災害ボランティアに参加された皆様および社会福祉協議会のスタッフの皆様、お疲れ様でした。

（集合写真）

